

会議報告書

会議名	令和7年度 第1回三郷市介護保険運営協議会
日 時	令和7年7月7日(月) 午後1時30分から午後2時20分
場 所	三郷市役所 健康福祉会館5階 会議室
出席者 (21名)	【会 長】 谷口 聡 【副会長】 今澤 正夫 【委 員】 近藤 由紀子、渡部 みどり、佐久間 史晃、晝間 章、秋葉 明、齋藤 義治、須本 晃夫、小川 孔美 8名 【事務局】 益子 敏幸(いきいき健康部長) 原山 千恵(いきいき健康部理事兼副部長) 中村 一之(介護保険課長) 川原 健(介護保険課長補佐) 溝口 明日香(介護保険課介護給付係長) 流 智子(介護保険課介護認定係長) 山根 花枝(介護保険課介護給付係主査) 木嶋 侑樹(介護保険課介護給付係主任) 中村 洋子(長寿いきがい課長) 岡田 美奈子(長寿いきがい課副参事兼課長補佐兼地域包括係長) 福田 千晶(長寿いきがい課地域包括係主査) 11名
傍聴人	なし
次 第	1 開会 2 委嘱書交付 3 会長あいさつ 4 部長あいさつ 5 議題 (1) 令和6年度介護保険特別会計決算見込及び 令和7年度介護保険特別会計補正予算(第1号)(案)について (2) その他 6 事務連絡 7 閉会
資 料	資料1-1 令和6年度三郷市介護保険特別会計決算概要 資料1-2 令和7年度三郷市介護保険特別会計補正予算(第1号)(案)【概要】 資料2 市内小規模多機能型居宅介護、看護小規模多機能型居宅介護設置一覧 「小規模多機能型居宅介護こぼと」のパンフレット 「介護に関する入門的研修」チラシ

【会議要旨】

1 開会

司会者（中村課長）が開会を宣言

2 委嘱書交付

益子部長から新任の渡部委員へ委嘱書の交付、渡部委員から自己紹介

司会者（中村課長）から異動職員の紹介

3 会長あいさつ

谷口会長よりあいさつ

4 部長あいさつ

益子部長よりあいさつ

5 議事

- ① 令和6年度介護保険特別会計決算見込及び令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）（案）について

谷口会長 議題（1）「令和6年度介護保険特別会計決算見込及び令和7年度介護保険特別会計補正予算（第1号）（案）について」、事務局から説明をお願いします。

事務局 【資料1-1】【資料1-2】に基づき説明。

谷口会長 ご意見、ご質問があればお願いいたします。

近藤委員 3点質問します。未納者はどの程度でしょうか。また、第9期介護保険事業計画の1年目であるが、計画値に対する給付額をどのように見ておられますか。基金の残高の推移はいかがでしょうか。

事務局 未納については、収納率でお答えします。令和5年度は96.4%に対し、令和6年度は97%と上昇しています。令和6年度の給付額については、概ね計画どおりで推移しています。基金の残高については、今回の補正で約3億円を積み立てますが、7年度中に約2億円の取り崩しを予定していますので、今年度末で約8億7千7百万円になる見込みです。ちなみに3年間で4億4,000万円の基金取り崩しを想定した保険料の積算・計画となっております。

晝間委員 人口が減少し保険料を払う人が減っていく中で、要介護認定者数が増えるとなると介護保険料もだんだん高くなっていくと思われるが。

事務局 介護給付費を予測したうえで必要な介護保険料を決めており、令和8年度までは同じ基準額です。しかし、要介護認定者数が増加すれば介護給付も増加することになり、現に給付費は増えています。次の介護保険料をどうするかについては、来年度の本協議会で審議いただくこととなりますが、令和9年度以降保険料は上昇すると見込まれます。

今澤副会長	介護保険料や社会保障費の上昇を解決することは難しく、負担の増加は免れないと思われます。博愛精神、福祉的な精神をもってカバーするしかないのではないのでしょうか。
近藤委員	第1号被保険者代表の立場からすると、介護を受けないことが一番の給付抑制になり、それが自分や家族の幸せとなり、さらに介護保険料を上昇させないことにつながるのではないかと思います。
晝間委員	第10期介護保険事業計画の策定に向けて、介護保険料と給付費の伸びをどうコントロールしていくのか、また給付費の財源をどう捻出していくのかも含めて、必要な人が必要な介護を受けられるように協議会で意見を述べて国へ伝えていく必要もあると思います。
須本委員	財産収入が大幅に増えている理由はなんですか。増加率がかなり高いが。
事務局	財産収入は基金残高の利息です。残高と最近の金利上昇により増額しています。
秋葉委員	第10期介護保険事業計画を検討する際は、介護保険料が上昇するとは思いますが、三郷市を6級地から5級地に変更することを検討していただきたいです。大都市圏に隣接する三郷市の近隣市が5級地になり、それが三郷市から事業所が撤退する要因となり、介護の担い手不足による介護難民が発生する可能性があります。保険料上昇については様々な意見があると思いますが、担い手についても考えてほしいと思います。
齋藤委員	物価上昇が進むなかで、介護サービス費の上昇は避けられないと思います。介護サービス費の上昇を抑え、また、より良い生活の基盤を作るためにもボランティア等と協力をしつつ三郷市ならではの介護予防事業の取組を進めていくことが大切であると思います。
佐久間委員	要支援者数の増加により地域包括支援センターのケアマネジャーの業務量が増え、市内の居宅介護支援事業者に委託をしようとしても収益など構造的な課題で引き受け手が見つからず、市外の居宅介護支援事業所に業務を依頼している状況です。介護予防の取り組みについては評価しますが、要支援者が増加する中で地域包括支援センターが逼迫している状況が続くことで、地域の中で手を取り合って介護を行う関係の希薄化も懸念されることから、そうした現状を把握して、未来のことを決める必要があると思います。
谷口会長	他に何かご意見やご質問がなければ、この議題については了承するという事でしょうか。 (意見・質問なし) 次に、議題(2)「その他」の説明をお願いします。
事務局	【資料2】に基づき、「小規模多機能型居宅介護こぼと」の開設報告、市内事業所の設置状況を説明。
谷口会長	事務局の説明について、ご質問やご意見がありましたらお願いいたします。

晝間委員 今年の３月に「小規模多機能型居宅介護こぼと」を開設したことで、市内のすべての圏域に小規模多機能型居宅介護または看護小規模多機能型居宅介護が設置されました。現在のところ利用者が５名と少なく、訪問介護の介護報酬の引き下げや介護職員の応募が少ないなど前途多難といった状況です。当施設は「特別養護老人ホーム小鳩園」に併設されているので、入所が必要になったときも継続的に同じような環境でサービスを提供できる体制を整えていきたいと思います。

今澤副会長 施設やサービスの種類分けをわかりやすく説明するようなパンフレットはないのでしょうか。

事務局 事業所一覧は用意しており、サービスの種類については介護事業計画の中で解説はしていますが、介護サービスは複雑でパンフレットだけでは理解が難しいと思います。担当のケアマネから説明してもらうほうがわかりやすいのではないのでしょうか。わかりやすい説明資料について、ご意見を参考とさせていただきます。

秋葉委員 小規模多機能型居宅介護や看護小規模多機能型居宅介護は複雑であるため、ケアマネとしても説明が難しいと考えています。私は、「定額料金でデイサービスとヘルパーさんと泊りがパックになっている」と説明しています。利用される方もイメージしづらいですし、市が説明を求められてもなかなか難しいのではないのでしょうか。

近藤委員 前もって介護サービスを知っているかどうかによっても変わってくると思います。パンフレットなどを目につくところにおいてももらえるとありがたいです。

今澤副会長 家族間でも介護について話しづらいケースがあるので、健康な時に介護をどうするかと言われると抵抗があるかたもいるかもしれませんね。

佐久間委員 例えば病院の問診票のように、要望を選択していくとどの介護サービスが最適であるかわかるようなシステムがあればいいですね。

谷口会長 他にご意見やご質問ありますか。

(意見・質問なし)

ないようですので本日の議事は終了いたします。

5 事務連絡

事務局 今後の運協開催予定等について連絡。

6 閉会

・今澤副会長より閉会のあいさつ